


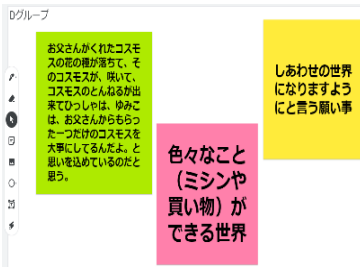


学校名	那覇市立 城南 小学校	指導者	松田 泰知
対象学年	4 学年	教科等	国語
单元名	ひとつの花（特に本時である必要はない）		
使用 ICT 機器	<div> <div> <div>■電子黒板</div> <div>■生徒用タブレット端末</div> <div>■ソフト・アプリ等</div> <div>（ JamBoard ）</div> </div> <div> <div>□デジタル教科書</div> <div>□実物投影機</div> <div>□その他</div> <div>（ ）</div> </div> </div>		
本時のめあて	（展開：第 6 時）「ひとつだけ」のキーワードをふまえ、花に込められた思いや、終末から読み取れることをまとめよう。		
ICT 機器の活用場面	・「ひとつだけ」のキーワードの登場回数の増減や花に込められた思いなどについて、自分の考えを JamBoard に付箋を使って表す。		
指導の流れ	<p>【事前】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JamBoard を準備しておく。（今回は課題ごとにファイルを作り、グループごとに課題を共有できるようにページを作成した） ・Google クラウドでストリームにリンクを貼り付けておく。 <p>【本時】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自力解決する課題を教師が黒板に書く。 ・その課題について、本文から読み取るなどして自分の考えを JamBoard に付箋で表す（グループ内で色担当を決め、付箋の色を分けることで視覚的に誰の考えなのかわかりやすくした） <div>    </div> <p>・似た考えを、ペン機能を使って丸で囲んだり、付箋同士を少し重ねたりして 考えを比べ合ったりする。</p> <p>・全体場で電子黒板を活用して、各グループから出た考えを出し合い、より 筆者の考えに近い考えはどれか話し合わせる。</p> <div>  </div>		
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・JamBoard は「共有」ボタンから「リンクの権限変更」を押し、「閲覧者」から「編集者」に変更をしておく必要がある。 ・個々のタイピング能力により、ノートでよりも表現できない可能性があるため、ここだけをもって評価はしない。 		